

で御座いますから此のつまらない御話でも皆さまに轉ばぬ先の杖とまでは參らずともそのつゝの「つ」の字位にでもなりましたら此の上もない幸と存じ上げます。

これはいつか物理の時間に先生に御伺ひいたしました事でございますがそれは先生の御知り合ひの方の坊ちやんで大塚の附屬小學校へ通つて居らつしやる方が學校で体格検査の時に体重を計るとき少しでも目方を増したいと思つてか顔の眞赤になるまでウンと力を入れたそうですその時の様子は量の上に立つて兩手をにぎつて口をへの字に結んできつと金時の様の顔であつただらうと思ひます然し子供の事ですからそれでよほど目方が増したと思つて居るでせうが可愛いでございますか。

北海道教育視察所感

部長 教授 小林 照 朗

(七月二十九日函館教育會に於て)

本篇は本會部長小林教授が昨夏北海道へ出張せられたる視察談中の一なり。亦以て本會々員諸氏の參考ともなりぬべしと信じ、こゝに之を載録する事となしぬ。

本日當區の教育會よりお招きにあづかりまして、有力なる教育家諸君と會して、一場のお話を

致す機會を齎しましたのは誠に光榮に存する次第でございます、何か學術上のお話を致さうかと考へましたが、過日來都合六回程、主として學術上の講演を致し、或は今日お出での方にも随分お聴きになつた方もあらうと思ひますので、あまり單調に流れはせぬかと心配されるのと、今一には、過日來の聴衆はその内に學生が混つて居るといふ關係から、私の北海道を視察して得たる感想も多少柔げて述べる必要があつたのでありますが、今日は吾々と同職に従事する教育家の御會合と承つたので、たとへ人數は少數であつても一粒選りの方であらうから、私の考も斯ういふ人に聽いて頂いたらば、御批評を承ることも得られやうといふ考から、俄に模様を替へて茲に一席の坐談として自分の本道教育に對する感想を申して諸君の御批評を求むることに致しました。諸君は常に教育に従事せられて居る御經驗より、北海道の教育に就いては色々の御感想があらるゝことゝ信じます、それで私は、この一句あまりの巡視によつて得た所感はこれを諸君に向つてお話するといふよりは、寧ろ御批評を仰ぐの適當なるを知るのであります。

私は極めて短時日の中に、北海道しかも其一部分のみを巡回致しましてその參觀したる所に就きこゝに壇上に立て意見を述べるは、或は分に過ぎたる次第かも知れませぬが、しかし諸君の如く毎日北海道の内に在つて、北海道の教育に従事して居らるゝ方には、チヨード三度々々の米の飯の味がわからぬ様にこの北海道の教育の特長は何かといふ様な問に對して……あまりよく判つ

て居る爲に、却て適切な解答を與へかねることが無いとも限らぬ、さすれば茲に單に素人の考を述べて見るのも、多少御反省の料となるかも知れませす、又私にとつても、斯うして諸君の御批評を仰ぐことは、東京に歸つてから誤つた觀察談をするの過失を避けることになるのであります。

過日來も私は度々繰返したことでありますが、この北海道には本洲から渡來した人が多いので、特別なる一種の風俗、一種の人種が形成せられて居る、即ち北海道の一般の人間は一種のタイプを具へた人間である、世界何れの邦にも見受ける所の移住民のタイプといふものを具へて居る人間である。從てその移住民の長所も短所も併せて備へて居る。彼の歐羅巴から亞米利加に渡つた人間は、殘つた本國の人間より、多少異つた人間であつた、今日、數百年の歳月を経て、やうやく亞米利加人といふ一種の人種が出來た様に云ふのは間違である。あれは始から新大陸に渡つて行く人間には一種の傾向を存して居つた。それは如何いふ關係からかと申すに、海を渡つて遠方に移住する決心を起すには、常人よりも其身体は強健に立派でなければならず、元氣も旺盛であつて冒險心にも富で居らねばならぬ。又悪い方から申せば食ふに困つた本土に居れぬといふ様な人間が、續々亞米利加に渡つた。そこで自ら一種の人物が集合して今日の亞米利加人の如き住民を形成したのである。これは今日學者の認むる所であるが、翻つて北海道移住民のサイコロジに就いて考へて見るに、全しく長所もあれば又、短所もある。長所の方から見れば北海道の住民

は慥に一の選良である。自らの淘汰で本土から選ばれて來た人間である。その健康の点に於て、その決心の固い点に於て、氣骨人物の点に於て優越なる所のある人間が北海道の住民の大部分を形成して居るのである。例へば健康に就いて申して見ますならば、私が過日來旅行中苦痛に感じたのは汽車で茶を賣つて居らぬことでありましたが、これは勞働者が多いので茶を汲む必要を感じて居らぬことを意味する。そしてそれはやがて彼等の身軀の強健なるを意味して居ります。それから又階級の点であります、本土に於ては在來の階級が備はつて居るが、北海道に於ては殆ど無階級と申してよろしい。その例は、口入屋といふものゝ門先に立てばすぐわかる。私が市中を廻つて見て目に付いたのは「何所々々行人夫タノム」とある、このタノムの一語です、東京をはじめ何所へ行つて見ても、(青森は除いて)かゝる場合には必ず「入用」とか「來れ」とか云ふので「頼む」などは決していへぬ。かゝる現象はこれは職業を尊重し階級を眼中に置かぬといふ美風である。從て彼の近來政府に於ても非常に怖れて居る所の社會主義の分子の如きは、その北海道を見舞ふこと必ず遲いに相違ない、要するに北海道は粗大なる社會であつて、神經的でなく、事物は實力主義で、自分の腕を鍛へ練り實力を人に認めしむるといふ愉快なる天地と思ふ。これ等は長所と感じた所であつて、先日來高等女學校でも申した如く、東北の學校を視察してから北海道に來て見て、その教育の豫想外に進んで居るのに驚いた。勿論これは函館其他の區に就いて申し

たので、……北海道は大都会と地方との二つに分けなければならぬが、主として都会につき申したのである。都會にあつては、教育は非常に盛であると認めた。東京以北東京に亞いで盛なるは北海道である。尙此上にも此歩調を以て進まんことを希望に堪へざる所であります。

しかし、以上は一面の長所を取つて申したので、これより少くその短所を擧げて見たい、長所についてはあまり精しく述べるを要せないことで、短所の方は、今まで六回の演説に控へて述べなかつた處のものをこゝに詳述して、かゝる缺點があるから諸君にお願せねばならぬ所を明にして見たいと思ふのであります。先づ其容貌に就いて申しますれば。前に選良であると申した反對に、一種の物凄ひ容貌に驚かされました。群集を見て殊に其を感じたのであります。眼の凄ひこと、眉の動き方の尋常でないことなど、すぐ目につきます。それから婦人では美人が割合に多いに驚きましたが、顔の美と正比して風儀の悪いにも驚かざるを得なかつた。これは其前身を洗へば此所で申上るも潔しとせぬ様な身分の者の多い影響でありませう、これ等も北海道の悪い方面の一と見るべきであります。殊に教育の普及より申せば、金をあまり有たぬ人に却つて教育あり人格ある人物を見出すに拘らず、財産のありそうな人に、劣悪なる人格の者が多い。これは、一朝その大膽なる計畫が當つて所謂成功したるものであつて、教育あり常識あるものはさう無鐵砲な計畫などをせぬ故、中流以下の處に立つて居るのであらうが、此人格の劣悪な輩が北海道の

有力なる父兄であるのでありますから、此人々によつて形造らるゝ處の家庭、此家庭より學校に送らるゝ處の兒童に就いて考へて見ますと、戰慄せざるを得ぬものがある。諸君は彼のザルツマンを御承知でせう、ザルツマンを御承知の方は其著書「蟹の草紙」といふ冊子を御承知でせう、我國では故大村仁太郎氏が翻譯して「我子の惡徳」と題して廣く行はれて居る書であります。彼書の初に、蟹の繪がかいてある。其意は、ザルツマン考ふらく今日父兄の兒童に得うる所のものは父兄自ら行ふ所でない、丁度蟹の親がその子の横這ひを咎めるが如きものである、といふので、其旨趣は、或日親蟹が子蟹に向ひ、お前はそんなに醜い歩き様をせずに直ぐに歩みなさい、と戒めた、ところが子供の申すのに、私はたゞお母さんのとほりに歩むだけです私がすぐに歩まねばならぬならどうぞお母さんからまづ其すぐに歩いて見せて下さいと、云つたといふ寓話を理想としてこの書を書いたのであります。私は北海道の一部を観察して、悲しい哉これが其の家庭の一部に現出して居るのを認めざるを得ないのであります。なるほど教育は盛である、中學校に子弟を入れて居る父兄を見るに、府縣にあつては到底中學などに子供を送れそうにもない程度の家庭でも、ドシ／＼中等教育を受けさせる有様である。又學校の建築を見ても、中學校高等女學校を始め小學校にしても、東北地方に比して遙かに優つて居る、金をかけることも多い。斯程までに熱心であるに拘らず一度その父兄の品行如何を見るときは遺憾ながら蟹の親と云はざるを得ぬ。今回私

が巡視した内に、最も悲惨に感じた一の實話があります。中學の五年級の生徒ですが、其父は若い時の放蕩の習慣を脱し得ず今日でも一週一度遊廓に足を踏み入れる、其細君は之が爲めに毎度嫉妬を起し、翌日必ず迎ひの使を遣る、その使に行くのがこの五年級になる長男です。親の云ひ付けですから呼びに行く、親父は樓上に居つて「誰が來た粹が迎へに來たとな、こゝへ上けい、酒を持て來い」といふ。「お前も最早中學校の五年級だ酒を呑むこと位は知らなくては世の中の味はわかるもまでない」と云つた様な勢、中學の教師が千言萬語口を酸くして教訓を施してそれが何の役に立ちませうか、母の命を受けて家を出で、父の命によつて遊廓の段階子を昇つたこの生徒を、學校は如何に處罰すべきものでありませうか、如何です諸君。斯の如きは北海道に於ける一部の家庭の現状でありますまいか、前には長所といふ方面を申上げたが北海道の社會は實に斯る短所を有して居るのではありますまいか。

北海道の社會は又現金主義であるといふことも考慮すべき事實であらう。「人夫頼む」の廣告に賃金の幾部は先に渡すといふとを斷つてある例を見ても、現金主義であることが判る。それから三區に於ても、公園などに登つて見渡すと、何れも立派なる建築の軒の並べて目に付くのは遊廓である。旭川の遊廓問題は有名な問題であつたので、彼地に行つた時間きましたら、アレダと云つて指さゝれましたが、此地でもやはり遊廓問題といふ様なものがあつたのでありますまいか。

社會一般の上から申したら、遊廓は必しも排斥すべきものでないかも知れぬが、其以外の公共事業のまだ備はらざる都市にして、先づ立派なる遊廓の建物を見るといふ事實は是亦北海道の社會の一面を語つて居るものでありますまいか。これは教育者一流の避見にして、眞の人情に通ぜざるの考かも知れませんが、諸君の一考に供すべき問題だと信じます。北海道の人間の大膽なることは、昨夜偶然實驗しました。私が或人を宿所に訪問しましたら、宿の隣室に十八歳の娘がたゞ一人で宿つて居る、何氣なく聞けば、遠方から來た者で知己がないが母が國館へ行けと云つたから二三日宿つて居るといふ。それが高等女學校の三年級であるとのことまで至つて平氣で居る。私は其父兄の大膽、娘の放膽なるに深く驚きましたが、かゝる事實の裡にも教育者の注意を要するものがあらうと思ふのであります。

私はつらく北海道人の心理如何を觀察したが、言葉は東京が多いやうであるが人種は殆ど全國を集めて居る。殊に關西地方の人の多からうと思はれるのは段々奥に入るに従つて一寸停車場などで賣つて居る新聞紙を見ても大阪毎日とか大阪朝日とか大阪の新聞が殊に多く賣れて居るのを見て察せられる。或人の話によれば北海道には關西の者も多いが東北の者も大分入つて居る、しかし東北の者は大抵欺されて來て居る、關西の者は考が有つて來て居る、この區別を知つて觀察しなければならぬと申されましたが其實際か否かは別に深く考ふべき問題であります、それ

から前に婦人の風儀の悪いことについて一寸述べましたが、其れに就いては學校の感化力の偉大なるを感ぜざるを得ぬことがあります、それは北海道に於ては年老いた者程風紀が悪い、これは學校殊に小學校教育の結果と見るべきでありますまいか。北海道で生れた兒童は北海道の小學校教育を受けて居るのであるが、親が、口にすべからざる様な卑猥なことを云ふと、其子供がこれを中止させるといふ有様を見るのでこれは現時の小學校教育に對して感謝の念を起した次第であります。諸君古への羅馬の教育史を繙いて御覽なさい、家庭に於て最もやかましく云つたことは何でありませう、兒童の前に卑猥なる言語を慎むといふことは非常に大切な家庭教育上の注意でありました。然るに北海道の家庭は如何でありませうか、只今申した様に父母が卑猥な言語を語るのを子供が諫めて居るといふ、實に冠履轉倒も甚しきものではありません。私は小學校の努力の効果を喜ぶと共に、蟹の家庭の頗る多いのを悲まざるを得ぬのであります。更に又私の悲んだことは、北海道の人に愛郷心の乏しいことであります。これも彼の殖民地心理から當然解せられることでもあります、北海道の人が其郷土を愛するに至るには、此北海道に生れたる者、即ち今日中學小學に居る者が家庭の主人となる時を待たなければ其せられないことである。此點につき北海道の兒童に俟つ所多きと共に、學校教育に望む處なきを得ぬ次第であります。私は度々申したことでありますが、北海道に來て氣持悪く思ふことの一つは、この函館などに於ても青森以南の本土を以て内地と考へ、こちらを遠く離れたる殖民地として居ること、人を嘲けるにも「内地臭い」といふ、この内地といふ言葉が頗る耳觸りなのであります、これを取除けるには、やはり小學教育の力を借らなければならぬこと、思ひます。

土地が教育に影響することの大なることは申すまでもないことではありますが、函館小樽と札幌旭川とを比べて觀て、殊に其感を深くしました、廣く申して見ますれば札幌や旭川は海に頻して居らぬ函館小樽は海岸であつて港であるといふ關係から、此兩地方には大陸的と海岸的の氣風の差異が認められます。又函館小樽に在つては其父兄は商業に従事して居る、札幌旭川は農業地方の中心地であるといふ所から、一方には移動が極めて多く、一方にはそれが少い。これ等はたしかに特色を發揮して居る點であると考へられました。當地の中學に就いて調べて見ますに、一年級の時代には百五十名であつたに拘らず、五年になつてからは、僅に三十人に減つて居るといふことですが、甚しい減り方ではありませんか。小樽中學に於ても亦同様の現象があるのであります。これは即ち土地の影響で、如何ともすべからざる所、教師の御苦心も察するに餘りあることであります、一年や二年で止める程なら、初めから入學させぬ方が學校にも父兄自身にも大なる利益でありませう。この事は一に小學校の先生に御盡力を願はなければならぬことで、小學校に於て兒童の將來につき適切なる指示を與へ、父兄の相談相手となることにして頂かねばならぬ

と思ひます。此等の點に就いては、申すまでもないことながら、初等教育と中等教育との親密なる聯絡を保ちたいと思ひます。従つて此教育會といふ様な機關によつて、區内の教育者は初等中等を問はず相提携して斯道の爲に謀るの必要がありませう。然るに稍もすれば世間一般に耳にする所は、其市の教育會と云へば専ら小學校關係者のみの機關なるが如く考へ中等學校の教師などは關係するを要せずとなして、遠かつて居る様な事實が多いのでありますが、幸にこの函館教育會などは、それ等の點が誠に宜く行つて居る様に見受けまゝすので、非常に喜ばしい次第であります。今申した問題の如きは、決して中等教育單獨で解決のつく問題でない、小學校の指導によつて着々解決を行つて行くものでありますから、特に諸君の御盡力を願つて置きたいのであります。私は三區及旭川の學校を觀て、別に著しく異つて居る點を認めません。しかし市の開け方については、函館は最も開けて居ると見ました。殊に北海道の關門といふべき位置を占めて居る點より致して、若し將來、彼の華美豪奢の風が北海道を見舞ふとするならば、必ず先づ此函館よりすると見なければなりません。然らばこの風潮を喰ひ止めるのは、函館の教育界の最大なる義務の一でありますまいか。これが爲には最も熱心に諸君の御盡力を請はねばなりません。それには色々執るべき道がありませうが、特に女子の教育に全力を注いでもらひたい。又實業教育も盛にしてもらはねばならぬ。小樽には幸ひ高等商業學校も出來かゝつて居りますが、函館に於ても益々

實業教育を完成して行かなければなりません。尙女子教育に就きましては、私は此地の裁縫學校と稱するものをまだ視ませぬが、小樽などでは随分不完全なるものに裁縫女學校といふ大看板を掲げてあるのを見ました。只一人の先生が裁縫を教へて居る外何等の學科としてもない、勿論修身科なども置いてないといふ様なものがあります。若し此函館に於ても此に類したものがあれば、女子教育の將來の爲に、諸君の一考を煩はして置きたいことでもあります。一方には女子教育、一方には實業教育、この二つは如何しても此土地の將來の爲に重大なものと考へられます。こちらの高等女學校に於て、實科の補習に入學者の少いといふやうなことは實にこれは遺憾な現象であります。最後に一寸、過日西洋から歸朝された中島力造博士の西洋教育談を御紹介致して置かうと思ふ。中島教授の歐米女子教育視察の土産話に、「米國は人も知る如く、男女共學の盛な國であつて、男女共學に大學の門戸を開放して居る我國でもこれに倣つて共學を唱へる向もだん／＼多いやうであるが、然るに彼地に於ける教育家の語る處によると亞米利加では女子に高等教育を施した爲に非常に困つて居る。女子の頭が上つて男がおさへることが出來なくなつて困つたものだ」と云つて居る。之れと同様のことを佛蘭西にも英吉利にも聞いた。呉服屋や化粧品屋の店頭には數多の淑女が其美々しく飾られてある品物に見とれて足を停めて居る。世間の人が多忙に駆け廻つて居る中に婦人のみはいかにも買つてほしいといふ顔つきでこれ等の店頭を動かぬ。顔つ

きのみならば差支ないが、若しも其夫がそれを買つて與へなかつたらば大變である、意久地無しだ無能だと云つて、夫を攻撃する。男子も弱いもので、やむを得ず其の營々として働いて得た金を以て細君の衣裳に替へ化粧品に替へるのである。所が巴里倫敦の流行といふものは實に恐ろしいもので、今日の新流行は明日はもう顧るものなき有様である。されば婦人の衣裳が立派になればなるほど、夫の顔は青白くなるとまで云はれて居る。これは何を語るか、今日歐米では女子の虚榮の爲に夫の苦しめらるゝことのあまりに甚しいのに慨歎した彼教育家の聲でありませう。或人が「日本の婦人は賢夫人である、日本國今日の繁榮は日本女子の賜物である。然るに怪訝に堪へぬのは、近來日本の女子教育方針は米國をまねて、日本固有の美質を没却しようとして居るやうであるが、誠に片腹痛いことである。吾々は却つて日本に倣つて我國の女子教育を改良せうとして居るものである」と云つて教授に喰つてかゝつたと申すことでありました。

私がこのお話を紹介致しますのは、教育といふものは實に眞面目な地味なものである、従に西洋を輸入するが如きは何の益にも立つものでない、必ずや日本在來の習慣精神といふものを汲取らねばならぬといふことを深く考へて頂きたい爲にすぎませぬ。北海道は萬事新しい所であれば、教育上の方針の如きも新を逐うて走るの傾はありますまいか。どうか北海道の將來の教育は、日本固有の精神を發揮することに努めていただきたい。所謂内地には歴史がある、例へば湊川と

いふ如く、これで以て明瞭に深刻に印象させることが出来るが、北海道には忠君愛國を教ふる材料に乏しい。然らばこれに代ふるの熱心を以て、教育者諸君が之に當らねばならぬ。日本民族の固有の精神は何かといふことに就いては、曩に高等女學校に於ける講演に十ヶ條を擧げて置きました。今重ねてそれを細説する暇を有しませぬが、我國民には他に比類なき性質が具つて居る。これ等を小學校兒童の頃からよく吹き込んでこの性質の顯はれるやうに御工夫を願ひたいのであります。それと共に、一般の家庭を純潔にするといふことも教育家の責任でありませう。父兄を學校に引きつけて自然に感化を與へるの工夫も必ず出来ることと思ひます。彼のアイヌ人の父兄ですら其子供の爲めに學校へやつて來る様になつて居ると云ひます。如何に學校任せの者でも教師が熱心にやれば放つて置かぬ様になります。家庭の風が教育に影響するといふことに就いては私が過日、土人部落に其會長を訪ふた時に感じたことがあります。私は途中に偶然一土人に逢うたのですが、何となく由緒正しきものゝやうに思はれたのですが、後で見ると、それが即ち會長であつたことが判つた、途中で見た子供の中でも、その會長の子供は立派で伶俐そうで一見してそれと見分げがつかしました。斯様に家庭の影響は土人に於ても然りであります。家庭を純潔ならしむるといふことの重大なるは申すまでもない程に明瞭なことであります。

私は思ふに、所謂内地の教育者の遣り方と、北海道の教育者の遣り方とを比べて見るならば、

北海道に於ける教育者は多少遣りよいではあるまいか。それは北海道の父兄はあまり學校に干渉せぬ、官廳事務にして見ても、學校長に委托してある事項が多い。隨て手腕を伸すの餘地が多からうと思ひました。間違かも知れぬが教育家が自己の理想を行ふには遙かに適當してゐると思はれます。

北海道の家庭は今日の儘に満足することは出来ぬ。大に改良を要する。が絶對の改良は今日の生徒が第二の家庭を作るまで俟たなければならぬ。此點に對して諸君の責任は誠に重大と云はなければならぬ。諸君は學、徳共に此重大な責任を盡すに餘りありと信じます。今後二三年は私は此土に參る機會はありますまいが、六七年の後には必ず參りまして、其時の教育を以て今日の教育と比較研究して見たいと思つて居ります。どうぞ其時分には面目を一新して居らるゝことを希望する次第でございます。單に常識的な一場の坐談を述べたに止まつて済みませぬが、空論よりは實地につき感じた所を申述べて御批評を願つた次第であります。(文責筆記者に在り)

記事

明治四十三年度

第一回技藝科會内容(五月七日)

- 一、開會の辭
- 一、名人の用意
- 一、霧ぼかし書につきて
- 一、田園生活
- 一、洗濯教材排列
- 一、袋物

小林 教授
下田 教授
吉村 元 造
山崎 ひろ
技 四 年
家事科

今回の會は近來になき盛會にて又得る所も大かりき先づ下田次郎先生の名人の用意に就ての御講話あり中々面白く且新知識を得る事多し次に吉村元造先生の御話ありたり此の方は部長小林教授の知人にて霧ぼかしを發明し小學校の圖書教授に就て大に興味を以て研究せられたる方なり先づ初歩の圖書は簡單にして容易に兒童の書き得るものより初め夫より次第に發達せしめざるべからずそれには初歩に霧ぼかし宜しかるべし之には筆使と云ふ事もなく又釣合と云ふ事も筆勢と云ふ事も要せず只紙と楊子と繪具と網とさへあればよく事物の形を寫す事が出来る其の方法たるや簡單にして然も自然物を利用し兒童にも容易に出來次第に圖書と云ふものを理解し從つて之に對する興味を有するに至ると同時に發達進歩するものなりとの御話にて次に霧ぼかしの實驗をなされ